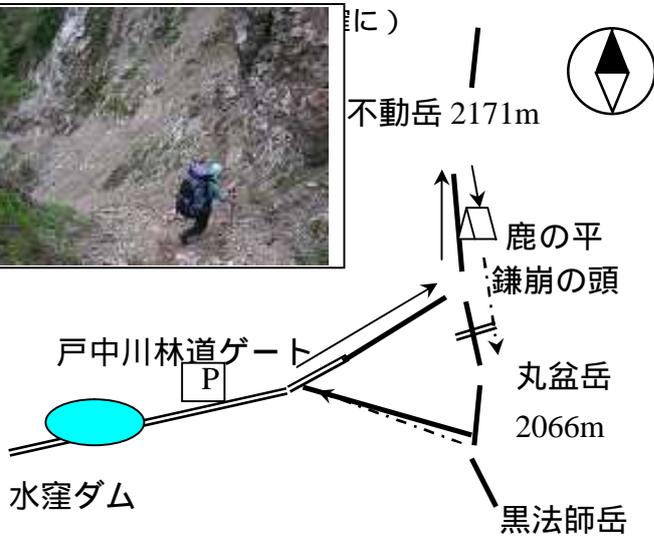


10 月度 例会 個人 山行報告書		報告者	中山 正夫	参加 メンバー	CL : 中山 正夫
		報告日	11 / 12		
山 域	南アルプス深南部	山行日	08 年 10 月 18 日 (土) ~		
山 名	不動岳・丸盆岳		08 年 10 月 19 日 (日)		

山行目的	バイク単独テント泊で鎌崩を通過する	コースタイム (天候 : 天気図記号)
------	-------------------	---------------------

配布先
集会:12
山行: 1
リーダー
原紙:集会
担当者



2.5 万分の 1 地図 : 寸又峡温泉

10/18(土) 晴れ 2:30 起床 03:00 自宅発 東栄 佐久間 水窪 5:30(道の駅) 6:30~45 戸中川ゲート 7:05 不動岳登山口着 8:30~45 休憩 9:30~45 休憩 10:17 鎌崩(加ガ)の頭 11:00 鹿ノ平着~テント 設営 11:30 12:13 不動岳頂上着~25 13:00 テン場着 13:15~50 水汲み 17:00 夕食 22:00 就寝	10/19(日)晴れ 3:00 起床 4:00 朝食 5:00 テント撤収 5:20 鹿ノ平発 5:55 日の出 6:00~10 鎌崩基点 7:40~55 最低コル 8:30 丸盆岳頂上着~45 9:35 等高尾根下降点 10:50~11:00 休憩 11:30 登山口(黒法師岳) 13:00 戸中川ゲート着 17:30 自宅着
--	--



山行報告 10/18(土)3:00 バイクで出発、東栄、佐久間をへて水窪へ向かう。長いダートの林道を緊張して走る 6:30 戸中川林道ゲートに着く、運良くマツタケ採りのおじさんカキシタさんの軽トラで不動岳の登山口まで送ってもらえた。(歩き 2 時間短縮)一気に 1000m の急登、上部は笹藪こぎして鎌崩/頭 10:17 着。尾根づたいに広い野球場ほどもある鹿ノ平をめざし 11:00 着。即テントを張り、空身で不動岳へ向かう、登山道とはいえないような踏み跡とけもの道の交錯する中を、地図を見ながら慎重に登り、不動岳 12:13 着。三角点には動物のフンが鎮座していた。テン場へ戻り、水場を探しに千頭側の沢に下る。笹こぎ 10 分登り 25 分疲れて笹の上で昼寝した。夜は鹿の寝床か餌場なのか、ガサガサ鹿の足音に悩まされ続けた、テントの回りをぐるりとライトを当てると合計 10 個の目が蛍のように金色に光って幻想的だった。10/19(日)5:00 にテント撤収し懐電を点けて歩きだす。5:55 富士山の右の雲海から日の出、今日も快晴だ。鎌崩(加ガ)の下降点に立ちルートを見たが、最初は恐ろしい大崩落で岩はポロポロ、ザイルの支点なしで、ハーケンも全然利かない、こんなとこ下れないと思った。意を決してガレ場に一步踏み出した。幅 8cm の細いバンドの砂利まじりステップに足を掛けると

ズルと下がり落石が 300m 下の谷底まで一気に落ちた。こんなトラバースを 20m、10m、5m の 3 回繰り返す、やっと最低コルまで来たときには、やっと生きた心地がした。後は這松と岩稜帯をよじ登って、丸盆岳 8:30 着。ここからは、2 年前に通った笹道を達成感をみやげに下った。

リーダー所見 偵察から入れて約 4 年越しの南アルプス深南部と言われる地域のめぼしい山は登った。あまり人が入らない地域で、一人ぼっちのテント泊が多く、道もワイルドで、慎重な予備調査と読図力、一瞬の判断など単独行ゆえの自己責任の行動がとれたと思う。最後に、いつも水窪の人は親切で、お世話になり感謝しております。

不動岳のなま(野生)のおそなえ三角点
鹿平サファリパークか夜五頭
いこかもどろか鎌ナギルート
戻りやオイラの男がすたる
山の男はつらいもの
小夜野

確認 (リーダー)
中
08/11/3
山
作成 (報告者)
中
08/11/3
山